



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月25日

上場会社名 株式会社オービック 上場取引所 東
 コード番号 4684 URL <https://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋 昇一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 阿南 友則 TEL 03-3245-6510
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 2022年11月21日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	49,076	12.7	30,718	16.5	35,062	21.2	24,904	17.0
2022年3月期第2四半期	43,559	—	26,371	10.4	28,935	10.7	21,277	11.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 20,323百万円(△18.2%) 2022年3月期第2四半期 24,839百万円(17.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	280.84	—
2022年3月期第2四半期	239.38	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。なお、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率は8.9%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	333,675	303,070	90.8	3,417.57
2022年3月期	323,927	293,567	90.6	3,310.49

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 303,070百万円 2022年3月期 293,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	92.50	—	122.50	215.00
2023年3月期	—	110.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	110.00	220.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,500	10.1	59,600	10.1	65,600	9.0	47,000	8.0	530.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	99,600,000株	2022年3月期	99,600,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	10,919,848株	2022年3月期	10,922,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	88,678,733株	2022年3月期2Q	88,887,911株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年4月21日発表の通期連結業績を修正しておりません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	9
受注及び売上の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における我が国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中で、各種政策の効果もあり持ち直しの動きが見られます。ただし、海外景気の下振れによるリスクや、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等による影響に十分注意する必要があります。

当情報サービス業界においては、企業のデジタル変革（DX）への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、製造・流通・サービス・金融等、様々な業種・業界の大手・中堅企業からシステム構築の引き合いが強まりました。システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズにも、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、クラウド関連施設の設備増強やセキュリティ・サービス強化、従業員のテレワーク環境整備など、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高490億76百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益307億18百万円（同16.5%増）、経常利益は350億62百万円（同21.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は249億4百万円（同17.0%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、先行きは依然として不透明な状況が続くものと見込まれますが、今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、当社クラウドソリューションの採用増加に伴い、サーバー機器等のハードウェア仕入販売の売上が引き続き低水準で推移したものの、付加価値の高い「OBIC7シリーズ」のシステム構築売上については、大手・中堅企業への新規顧客開拓が進み、堅調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は222億47百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は130億52百万円（同15.6%増）となりました。

(B) システムサポート事業

主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェア及びハードウェアの「運用支援・保守サービス等」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は235億67百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は169億6百万円（同18.1%増）となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

中小企業を中心に印刷サプライやオフィス家具等の販売がやや減少したものの、主力の業務用パッケージソフトの販売については堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は32億61百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は7億59百万円（同0.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計残高は、投資有価証券の時価評価による減少はあるものの、営業債権及びその回収に伴う現預金の増加等により、前連結会計年度末比で97億48百万円増加し3,336億75百万円となりました。

負債合計残高は、繰延税金負債が減少した一方で、未払法人税等が増加したこと等により、2億44百万円増加し306億4百万円となりました。

純資産合計残高は、時価評価によるその他有価証券評価差額金の減少はあるものの、利益剰余金の増加等により、95億3百万円増加し3,030億70百万円となりました。結果、自己資本比率は90.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,469億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ、242億45百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、239億6百万円（前年同期比48.6%増）であります。これは主に法人税等の支払が83億42百万円発生した一方で、税金等調整前四半期純利益が350億62百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が21億91百万円計上されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、111億99百万円（前年同期は14億52百万円の減少）であります。これは主に定期預金の払戻による収入が118億65百万円計上されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、108億63百万円（前年同期は147億62百万円の減少）であります。これは配当金の支払が108億63百万円計上されたことによるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、業績のオペレーションを行っております。当第2四半期連結会計期間末現在、業績は概ね順調に推移しております。よって、2022年4月21日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	122,699	146,944
受取手形、売掛金及び契約資産	12,025	13,731
商品及び製品	68	64
仕掛品	233	285
原材料及び貯蔵品	7	1
その他	1,118	1,383
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	136,150	162,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,823	25,257
土地	27,636	27,636
その他（純額）	2,661	2,405
有形固定資産合計	56,121	55,299
無形固定資産		
その他	154	141
無形固定資産合計	154	141
投資その他の資産		
投資有価証券	118,570	113,052
長期預金	10,658	—
その他	2,274	2,773
貸倒引当金	△2	△0
投資その他の資産合計	131,500	115,825
固定資産合計	187,776	171,266
資産合計	323,927	333,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,606	3,475
未払法人税等	8,552	10,359
賞与引当金	2,372	2,372
その他	6,535	5,950
流動負債合計	21,066	22,157
固定負債		
退職給付に係る負債	5,942	5,979
資産除去債務	358	398
その他	2,992	2,069
固定負債合計	9,293	8,446
負債合計	30,359	30,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,567
利益剰余金	265,985	280,027
自己株式	△27,562	△27,557
株主資本合計	277,131	291,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,877	12,316
土地再評価差額金	△481	△481
退職給付に係る調整累計額	39	19
その他の包括利益累計額合計	16,435	11,854
純資産合計	293,567	303,070
負債純資産合計	323,927	333,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	43,559	49,076
売上原価	10,251	11,071
売上総利益	33,308	38,005
販売費及び一般管理費	6,937	7,287
営業利益	26,371	30,718
営業外収益		
受取利息	0	69
受取配当金	431	1,120
投資有価証券売却益	3	—
持分法による投資利益	1,820	1,813
受取賃貸料	790	843
為替差益	—	1,906
その他	286	42
営業外収益合計	3,332	5,796
営業外費用		
賃貸費用	766	753
解約手数料	—	696
その他	2	3
営業外費用合計	768	1,453
経常利益	28,935	35,062
特別利益		
固定資産売却益	1	—
関係会社株式売却益	1	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	28,937	35,062
法人税、住民税及び事業税	7,944	10,066
法人税等調整額	△284	91
法人税等合計	7,659	10,157
四半期純利益	21,277	24,904
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,277	24,904

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	21,277	24,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,630	△4,001
土地再評価差額金	213	—
退職給付に係る調整額	27	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	689	△571
その他の包括利益合計	3,561	△4,580
四半期包括利益	24,839	20,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,839	20,323
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,937	35,062
減価償却費	1,144	1,235
持分法による投資損益 (△は益)	△1,820	△1,813
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△105	△129
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17	25
受取利息及び受取配当金	△432	△1,190
固定資産売却損益 (△は益)	△1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△781	△1,706
棚卸資産の増減額 (△は増加)	61	△42
仕入債務の増減額 (△は減少)	△382	△131
その他	△2,367	△1,252
小計	24,233	30,057
利息及び配当金の受取額	1,281	2,191
法人税等の支払額	△9,424	△8,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,090	23,906
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	11,865
有形固定資産の取得による支出	△1,425	△746
有形固定資産の売却による収入	3	—
無形固定資産の取得による支出	△44	△27
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却による収入	9	—
関係会社株式の売却による収入	234	—
その他	△227	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,452	11,199
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△9,339	△10,863
自己株式の取得による支出	△5,422	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,762	△10,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△124	24,245
現金及び現金同等物の期首残高	150,745	122,699
現金及び現金同等物の四半期末残高	150,621	146,944

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注及び売上の状況

①受注実績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年同期比
システムインテグレーション事業	19,814	42.4	22,492	42.8	2,678	113.5%
システムサポート事業	23,444	50.1	26,835	51.0	3,390	114.5%
オフィスオートメーション事業	3,507	7.5	3,252	6.2	△254	92.7%
合 計	46,766	100.0	52,580	100.0	5,814	112.4%

②売上実績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年同期比
システムインテグレーション事業	19,937	45.8	22,247	45.3	2,310	111.6%
システムサポート事業	20,357	46.7	23,567	48.0	3,210	115.8%
オフィスオートメーション事業	3,264	7.5	3,261	6.7	△3	99.9%
合 計	43,559	100.0	49,076	100.0	5,516	112.7%

以上